

平成31年2月実施

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			広い面積が確保されています。又、活動に配慮して備品の配置を工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			指定基準に準じ、お子さまのケアが行き届くように職員配置をしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			施設内全ての設備がバリアフリーとなっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			会議の場を設けて目標設定と振り返りをし改善に向けた取り組みをしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様の意見を反映させて今後の改善につなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	未実施
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部での研修を受けた者が他の職員に伝達研修をしたり、経験のある者がその都度必要なことを内部研修で伝えていきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			お子様と保護者様の意向の把握とアセスメントを行い計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			事業所で決めた様式で発達の状態をアセスメントしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員全員で話し合い年間のスケジュールを立てています。又、季節に応じて活動を考えています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			読み聞かせ、感覚遊び、ふれ合い遊び、歌・手遊び、散歩、制作等バランスよく行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			職員間で話し合っ決めていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			一人一人の適正や状態に合わせた個別活動とお友達との関わりを楽しめるような集団活動を組み合わせています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日開始前に打ち合わせをして内容と役割分担、細かい部分を確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			一日の終わりに申し送りをして良かった点、反省点等を出し合い、意識合わせをしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録を正確にとることで情報の共有と支援の改善につなげていきます。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6カ月に1回以上モニタリングを行い、保護者の意向を把握して、発達の状況に応じた見直しをしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		ガイドラインを踏まえ、自己肯定感を育めるように関わりながら創作や地域交流、リラックスできる活動を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		相談支援事業所が行うモニタリングには同席することがありますが担当者会議にも連携して参加していきたいと思いをしています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校と連携して送迎時の対応を調整しています。又、学校からお便りをいただく等して情報共有を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	医師の診断書を提出していただき連絡先がわかるようにしています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	相談支援事業所を通して情報をいただくことがあります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		卒業後に利用する生活介護事業所(同法人内)に情報を提供しました。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修への参加の他、児童発達支援センターや放課後等デイサービスの集まりに参加し情報交換をしたり助言を受けました。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	今のところは交流を行っていません。今後保護者様の意見を聞いて検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		重症心身障害児(者)連携会議などに参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		帰りのお迎えのときや連絡帳を利用してお子様の様子を伝え合っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	保護者様におしえていただくことの方が多くペアレント・トレーニング等は行っていません。今後必要に応じて検討します。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約締結時にできるだけ丁寧に説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者様からの相談は常時受け付けております。適切に対応させていただきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会を開催しておりません。クリスマスの時期にお迎えに来たご家族同士がご歓談できるスペースを設けるなどしました。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		今年度苦情はありませんが、受付については体制を整えています。苦情があった場合には迅速に対応いたします。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月のお便りで活動の様子や行事予定等をお知らせしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			記録や情報を適切に管理しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子様の個々の状況に合わせた意思の疎通を図っています。保護者様にはお迎え時の会話、お便り、連絡帳、電話にてお伝えしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			絵本の読み聞かせや歌・お話し等のボランティアを招き、交流を深めています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	契約締結時に重要事項説明書で対応の説明をしていますがマニュアルとしてはお渡ししていません。事業所内の職員用マニュアルを保護者様向けにしたものを今後お渡ししていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			地震、火事を想定して3か月に1度くらいのペースで避難訓練を行っています。その他年に1度電話で保護者様への伝達訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止研修会に参加しています。又、テキストを用いた職員間の意識合わせや年に3回の職員セルフチェックリストを行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			車椅子上でベルトや装具の着用は安定した座位保持のためのものと位置付けをし長時間の同一姿勢による身体への負担を軽減する対策をとっています。その旨を計画書に記載し、毎月チェック表にまとめています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			提出していただいた医師による診断書の記載と保護者様の要望に従い、栄養士と連携して対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所内でヒヤリハットを共有し、対応策を検討して周知しています。